

平成 26 年度電気化学会北陸支部秋季大会・産学官フォーラム講演会 合同大会記録
(共催：電気化学会北陸支部、北陸技術交流テクノフェア、ECS 日本支部)

電気化学会北陸支部

「産学官フォーラム講演会」 (参加者 67 名)

日時：10 月 16 日 (木) 15:00~17:00

場所：福井県産業会館 (福井県福井市下六条町 103 番地)

1. 「宇宙探査における電気化学の役割」 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 曾根 理嗣 氏
2. 「宇宙エレベーター建設構想」 (株) 大林組 石川洋二 氏
3. 「日本発ジェットエンジン材料」 (株) 立山マシン 市川吉晴 氏

最初に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)曾根理嗣 氏より、宇宙探査における電気化学の役割についてご講演を頂いた。人工衛星、探査機、ロケット等に搭載される蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池)で電気化学の技術が生かされていること、また、小惑星探査機「はやぶさ」でどのような役割を果たしているかが紹介された。研究題材として身近なリチウムイオン二次電池が、宇宙という極限環境下で用いられていることに改めて感動した。

次に、株式会社 大林組 石川洋二 氏より、民間企業ながら専門のプロジェクトチームを立ち上げ、各界の研究者から「リアリティがある」と評されている「宇宙エレベーター建設構想」についてご講演頂いた。SFめいた話ではなく、莫大な予算(ロケットよりも安価である)さえあればもしかしたら実現できるのかも?と思わせる具体的なお話で、大変興味深く拝聴した。

最後に、株式会社 立山マシン 市川吉晴 氏より、「日本発ジェットエンジン材料」と題して、航空機ジェットエンジン研究に係る新規で多彩なお話を伺った。今までは海外製品が主力であったが、国内での研究が進み、最新の航空機(ボーイング787)に日本の技術が採用されていることが紹介された。またエンジン材料の1つ、セラミックについて詳しくお話頂いた。今後の展開・見通しについて期待の持てる講演であった。

各講演ともたいへん活発な質疑応答が交わされ、産学官フォーラム講演会は盛会裏に終了した。

「懇親会」 (参加者 120 名)

日時：10 月 16 日 (木) 17:30~19:30

場所：福井県産業会館 (福井県福井市下六条町 103 番地)

本館 2 階展示場に移動し、テクノフェアと合流しての開催となった。最初に北陸技術交流テクノフェア実行委員会実行委員長 北陸電力(株)福井支店 執行役員福井支店長 佐々木 輝明氏よりご挨拶があり、続いて、産官学フォーラム運営委員会委員長の菅野了次先生にご挨拶頂いた後、電気化学会北陸支部平成 26 年度秋季大会実行委員の米沢晋先生より乾杯の音頭があった。一般の方々、学生を含む多数の参加があり、立食パーティ形式で食事を楽しみながら、日頃の研

究についての意見交換が活発になされた。

「学生ポスター発表」 (参加者 49名)

日時：10月16日(金) 13:00~14:30

場所：福井県産業会館 (福井県福井市下六条町 103 番地)

○ポスター発表 21 件

「一般講演および若手研究者講演」 (参加者 39名)

日時：10月17日(金) 9:25~17:30

場所：福井県生活学習館 (ユウ・アイふくい) (福井県福井市下六条町 14-1)

○一般講演 4 件

○若手研究者講演 4 件

一般講演および若手研究者講演では、学生を主として各大学で進んでいる活発な研究の成果が発表された。ECS からの補助金を頂いて実施の若手研究者講演については、要旨も英文 (A4、2 ページ) で作成した。一般講演 9 分、若手研究者講演 12 分、で発表が行われ、発表後の質疑応答では大変活発に意見が交わされた。今回は北陸技術交流テクノフェアとの共同開催であり、一般の方にもポスター発表を見て頂く貴重な機会となった。各賞の選考は、支部役員ならびに一般の方にも審査に加わっていただき、一般講演および若手研究者講演あわせて最優秀発表賞 1 名、ポスター発表部門では、最優秀発表賞と優秀発表賞 1 名ずつを選考し、続く懇親会にて発表および表彰を行った。

◇一般・若手講演部門 最優秀発表賞 久住 拓司 さん (金沢大学)

「MECHANISTIC ANALYSIS OF LIGHT-SOAKING EFFECT OF
INVERTED POLYMER SOLAR CELLS WITH AMINE-MODIFIED
ITO ELECTRON COLLECTION ELECTRODES」

◇ポスター発表部門 最優秀発表賞 鴻野 美和 さん (福井大学)

「表面フッ素化 TiO₂ を用いた Li₄Ti₅O₁₂ の作製とその電気化学特性評価」

◇ポスター発表部門 優秀発表賞 鮫島 彰吾 さん (長岡技術科学大学)

「ナノ粒子を複合化しためっき膜の開発と応用」

以上